

2018年4月21日

水素化プラントの地鎮祭をブルネイ・ダルサラーム国にて開催

次世代水素エネルギー技術研究組合

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より助成を受けて進めている「有機ケミカルハイドライド法による未利用エネルギー由来水素サプライチェーン実証」事業において、ブルネイ・ダルサラーム国に建設を予定している水素化プラントの建設工事開始にあたり、建設予定地にて2018年4月21日に地鎮祭を執り行いました。

ブルネイからは、マサティージョエネルギー産業省副大臣を主賓としてお招きし、政府要人や現地ステークホルダーの方々、日本からは在ブルネイ日本国大使館加藤大使、経済産業省資源エネルギー庁山影課長、組員企業も含めて総勢約200名の方々にご出席いただき、厳かに取り進められました。

地鎮祭は、在ブルネイ加藤大使による開会の辞に始まり、経済産業省資源エネルギー庁山影課長のスピーチ、マサティージョエネルギー産業省副大臣のスピーチと続き、鍬入れの儀式、AHEAD 遠藤理事長による閉会の辞にて一連の儀式を終了し、滞りなく終了いたしました。

地鎮祭を終え、いよいよ建設工事の始まりを感じ、当組合および組員各社の関係者一同、より一層力を合わせて2020年の水素サプライチェーン実証運転の実現を目指してまい進する所存であります。



水素製造及び水素化プラント完成予想図

この件に関するお問い合わせ先：

次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合 企画管理部 成毛・五十嵐
電話：045-225-7159 メールアドレス：info@ahead.or.jp